

# 地域医療連携の新たな潮流Ⅱ

## 地域医療連携の新たな潮流Ⅱ

ヘルスケア エグゼクティブ セミナー

主催：富士通株式会社 共催：株式会社富士通総研

FUJITSU

沖縄県では、高齢化の進展や生活習慣病患者の増加に伴い、住民の医療への需要が増加しています。その一方で、医療機関では慢性的な財政問題や医師不足の課題を抱えており、それらは医療提供の継続性の担保のみならず病院の存続自体に大きな影を落としています。

今年2月に弊社が開催したセミナーでは、その解決策のひとつとして地域医療連携を取り上げ、①技術移転による病診連携体制の構築、②医療施設を核とした多職種協働による地域完結型医療、③地域連携ツールとしての情報、をご紹介します、これからの沖縄県の医療について会場を交えた闊達な御議論を頂きました。

今回のセミナーでは以上のテーマをより深掘りするとともに、地域連携の要となる病院経営力の向上を念頭に、全員参加型病院経営や多職種協働の進め方・その際の情報共有のあり方を皆様とご一緒に探りたいと考えております。

13:30	開演
13:30~13:40	開会挨拶 高島 章（株式会社富士通総研 代表取締役会長）
13:40~14:30	基調講演 近藤 俊之 氏（千葉県病院局長） 地域医療連携と協働・参加型病院経営
14:30~15:20	講演① 城谷 典保 氏（東京女子医科大学八千代医療センター 副院長） 医療者を核とした地域完結型医療
15:20~15:30	休憩（10分）
15:30~16:20	講演② 清水 史郎 氏（島根県立中央病院 副院長） 島根県における医療情報ネットワーク 『医療ネットしまね』稼動6年の実績とその評価
16:20~17:30	意見交換会
17:30~17:40	閉会挨拶 古川 章（富士通株式会社 経営執行役 沖縄担当）
17:40	閉演

開催日時 2008年 10月 25日（土曜日） 13時半開演（開場 13時）

会場 ホテルJALシティ那覇（定員：最大70名）

費用 無料

※当日はお名刺を受付にご提出ください。

### ●ホテルJALシティ那覇

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1-3-70

TEL：098-866-2580

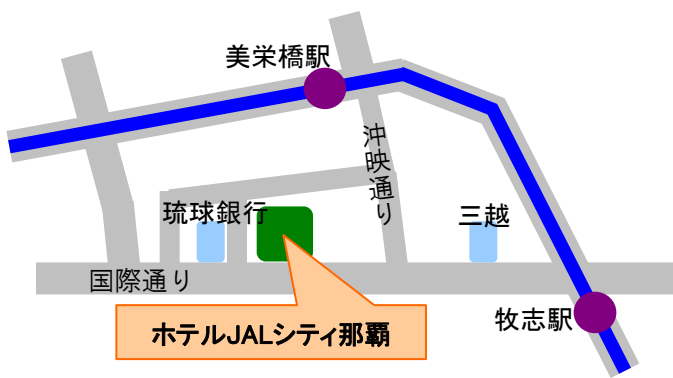
【沖縄都市モノレール（ゆいレール）牧志駅より徒歩8分】

### お問い合わせ窓口

（株）富士通総研 公共コンサルティング事業部

（瀬戸、名取）

TEL：03-5401-8396 FAX：03-5401-8439



## 講師御紹介

近藤 俊之（こんどう としゆき）

千葉県病院局長

1976年 慶應義塾大学医学部卒業  
慶應義塾大学病院臨床研修医及び横浜市立病院小児科  
1980年 厚生省入省、保健局医療課、統計情報局衛生統計課  
1985年 秋田県出向、福祉保健部次長兼医務薬事課長  
1988年 厚生省、保健医療局健康増進栄養課、同精神保健課  
1990年 株式会社エスアールエル入社  
1995年 同社代表取締役社長就任  
2004年 同社取締役議長就任  
2002年 東京エレクトロン株式会社社外取締役就任  
2005年 独立行政法人国立健康・栄養研究所監事就任  
2005年 株式会社みらかホールディングス取締役就任  
2006年 千葉県病院局長就任。現在に至る。

城谷 典保（しろたに のりやす）

東京女子医科大学八千代医療センター副院長

1976年 関西医科大学卒業、同年東京女子医科大学第二外科研修医から助手  
1982年 長野県飯山赤十字病院外科部長  
1986年 東京女子医科大学第二外科帰局  
1992年 第二外科講師  
1996年 同准教授  
2006年 7月 第二外科教授  
2007年10月 八千代医療センター外科教授、副院長・外科診療部長に就任  
日本臨床外科学会（評議員）、日本外科代謝栄養学会（評議員・学会誌編集委員）  
日本静脈経腸栄養学会（理事）、日本在宅医療研究会（会長）等

清水 史郎（しみず しろう）

島根県立中央病院副院長 情報システム管理室室長（兼）

1970年 3月 京都大学医学部卒業  
1977年 6月 金沢医大血液免疫内科講師（1979年8月～1982年6月米国フロリダ大学留学）  
1989年 9月 金沢医大血液免疫内科助教授  
2000年 4月 島根県立中央病院 副院長 リウマチ・アレルギー科部長兼任  
2007年 4月 同院・情報システム管理室室長兼任  
日本血液学会（評議員、専門医、指導医）、日本リウマチ学会（評議員、専門医）  
日本内科学会（評議員、認定医、指導医）、医療情報学会